

福祉避難所~災害関連死~

3年3組17番 近藤 妃菜
3年4組21番 橋田 藍

Keyword: 「地震」「福祉避難所」「災害関連死」

1. はじめに

日本は地震が多い国である。災害のニュースを見る度に「福祉避難所」「災害関連死」という言葉を多く目にした。探究のきっかけは、被災時に障がいのある方が安全に避難し、避難生活を送ることができるのか疑問に思ったからだ。障がいのある方が避難所にスムーズに行くことができず、災害関連死に繋がったケースがありこれらは一人一人が意識することや、少しでも環境が整っていたら防げるのではないかと考えた。

2. 序論

○福祉避難所

災害発生時に一般の避難所では、避難生活に支障が生じる高齢者や障がい者など特別な配慮を必要とする人のために開設される避難所である。災害発生時、必要性が認められた場合にのみ開設する。

○災害関連死

災害関連死とは、災害による直接の被害ではなく、避難途中や避難後に死亡した者の死因について、災害との因果関係が認められるものである。

私たちの目標

- 1 福祉避難所をより多くの人に知ってもらう。
- 2 福祉避難所の現状を知ること。
- 3 福祉避難所にスムーズに行くにはどうしたら良いかを考える。

先行研究により、大規模災害の時に福祉避難所に避難した後の課題というよりも、そもそも福祉避難所へ行くことができなかつたことが大きな問題であることが分かった。

私たちは、アンケート調査とポスター作り、文献調査を行った。アンケート調査により福祉避難所を知っている人・どのような場所なのか等を知っている割合を調べた。福祉避難所のポスターを作り掲示した。

○予想

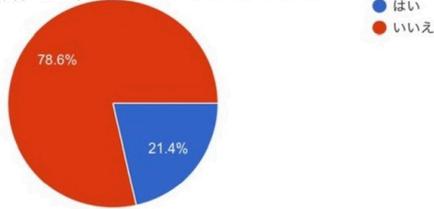
福祉避難所を知らない人が大半を占めると考える。私たちが現状を知ることによって広める方法を考え、知ってもらうきっかけを作ることが出来る。

3. 本論

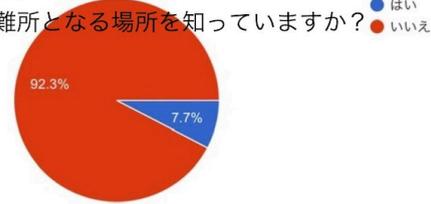
国際生14人を対象にアンケート調査を行った。アンケートの内容は以下の通りである。

- 1 福祉避難所を知っていますか？
- 2 災害時、福祉避難所となる場所を知っていますか？

1 福祉避難所を知っていますか？



2 災害時、福祉避難所となる場所を知っていますか？



1の問いではほとんどの人が福祉避難所を知らないという結果になり、その中でも知っている人と答えてくれた人はSNSやテレビ、私たちのプレゼンで知ったということが分かった。2の問いでも福祉避難所となる場所を知らないという人がほとんどを占めた。

また、福祉避難所のイメージについて質問したところ、以下のような回答が見られた。

- 高齢者の方がたくさんいそう
- 特別な配慮を必要とする方の場所
- 綺麗そう
- 分からない、知らないのでイメージをすることが出来ない

回答結果から福祉避難所を具体的にイメージすることは難しいことが分かった。身近なものではないので何かきっかけがないと知る機会がないと感じた。福祉避難所のこと簡単に分かるものが必要だと考えポスター作りをした。ポスターには福祉避難所はどういう場所なのか、どこにあるのかといった要点をまとめた。

The infographic poster is titled '福祉避難所とは！？' (What are welfare evacuation shelters?). It features a man pointing to the title. Below the title, it defines welfare evacuation shelters as places for evacuees (mainly elderly, disabled, and infants) who need special care. It lists two key points: they are only opened when necessary, and only designated people can use them. A 'ポイント' (Key Point) section states that users must confirm if they are eligible and check the location. A purple box lists '奈良県の福祉避難所' (Welfare evacuation shelters in Nara Prefecture), including Nara City Comprehensive Welfare Center, Nara Prefectural Nara Specialized School, and Nara University of Education Specialized Elderly Home. A note mentions that specialized schools and elderly homes often serve as shelters. A teal box at the bottom discusses 'インクルーシブ防災' (Inclusive Disaster Preparedness), stating that Japan aims for disaster preparedness where no one is left behind. The footer reads 'みんなで作る笑顔のコミュニティ 近藤・橋田'.

4. 結論

私たちの目標であった、福祉避難所をより多くの人に知ってもらうことと福祉避難所の現状を知るということは達成できた。大々的な活動は出来なかったが授業を通しての発表で福祉避難所とは何か、どのような場所であるのか、課題は何かということを経験生を対象に伝えられた。今回の探究を通して根本的な問題を解決出来た訳ではなく、高校生が制度というものを伝えられた訳でもない。福祉避難所を知らないという人が多いこと、何かきっかけがないと知ることは難しい現状ということが分かった。先行研究でもあった通りそもそも福祉避難所に行くことが出来ない障がい者の方が多いことも分かった。

5. おわりに

地震が多い日本に住んでいるという自覚を持ち、一人一人が少しでも意識、協力することで改善出来ることがあるのではないかと。私たちもこの探究を通して新しい知識をたくさん学ぶことが出来た。災害が起きた際にはこの知識を活かして行動していきたいと思う。

6. 参考文献・出典

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://doi.org/10.18910/75402>

近年の福祉避難所に関する動向について: 阪神・淡路大震災から西日本豪雨にかけて

著者: 大門大郎, 刊行年月: 2020-03, 閲覧日: 2024-09-10

公益財団法人

日本ケアフィット共育機構

<https://www.carefit.org>

奈良県公式ホームページ 福祉避難所一覧表

https://www.pref.nara.jp/secure/174589/R5.10.1_fukushihinansyo2.pdf